



1 意義

首脳会談の成果を踏まえ、持続可能な発展に向けた協力の強化及び法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化に向けた協力を確認するメッセージを発出。

2 ポイント

冒頭

- 外交関係樹立以降31年間の二国間協力を評価、二国間関係の新たな水準への引き上げを確認。
- 自由、民主主義、法の支配、人権等の**価値及び原則を共有**。

二国間関係

- 二国間関係を**包括的なパートナーシップ**へ更に発展。キルギスの**持続可能な開発**への支援を表明。
- 無償資金協力「灌漑用水路の運用及び維持のための機材整備計画」に関する交換公文への署名、外交・公用査証免除措置の導入に関する口上書交換、法務当局間協力覚書、保健当局間協力覚書署名を歓迎。
- 政治対話、議会間交流をはじめとする二国間の対話の強化で一致。
- 二国間クレジット制度(JCM)、特定技能制度に関する協力覚書に基づく協力への期待を表明。

地域及び国際協力

- 「**中央アジア＋日本**」対話の枠組みにおける連携強化。
- アフガニスタン、テロ・過激主義対策を含む地域の安定化に向けた協力の重要性を強調。
- 安保理改革、核軍縮・不拡散等様々な国際場裡での連携を確認。**経済安全保障における連携**を確認。
- 現在の**極めて困難な地政学的状況**の中、**法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序**を維持・強化するパートナーとしての相互協力の重要性を確認。**どの地域であれ、いかなる武力による威嚇又は武力の行使も認められないとの認識**を共有。
- 国連憲章やその他国際法の諸原則(独立、主権、領土一体性等)への揺るぎないコミットメントを確認。
- 北朝鮮の完全な非核化及び拉致問題解決へのコミットメントを再確認。
- ガザの状況に対する深刻な懸念を表明。